

厳かに華やかに。時代行列の入城で幕開けした



# 水野家と新宮城下町 五語り継がれる四〇〇年。



【1面関連】水野家人部400年記念事業実行委員会（委員長・田岡実千年新宮市長）（一財）自治総合センターは9、10の両日、新宮市内各地で水野家人部400年記念事業「水野家と新宮城下町」を開催した。新宮城跡を舞台に開催された10日は、時代衣装を身に着けた水野勝之さんや田岡市長モニカ・水野・ベロイターさんら約30人の時代行列の入城により開幕した。晴天の下、多くの家族連れでにぎわったイベントの様子を紹介する。

（西久保勢津子、前地翔）



新宮城跡会場では踊り、祖先が、ここにあつたお城演奏、チャンバラ合戦、ゲーム大会が来場者を楽しませた。ほかにも物産展や新宮城跡ガイドツアー、江戸千家新宮同好会による川上不白生誕300年を記念したお茶会なども催された。

丹鶴、仲之町、駅前本通りの各商店街では、記念事業を盛り上げようと、趣向を凝らしたイベントを実施。多くの子どもらが集まり、記念イベントにぎわいを添えた。

閉会に当たり、田岡市長が、このたびモニカさんがドイツより13人の使節団と共に来新したことを報告。モニカさんは「自分の

人生で、これまでにまかれた。丹鶴、仲之町、駅前本通りにまかれた。」と約1500個の餅が盛り上げようとしていることを誇り、住んでいたことを誇りに思っている。新宮市にはお城があり世界遺産があり、港がある。このまちがますます繁栄することを願っています」とあいさつ。フィナーレではお菓子と約1500個の餅が盛り上げようとしていることを誇り、住んでいたことを誇りに思っている。新宮市にはお城があり世界遺産があり、港がある。このまちがますます繁栄することを願っています」とあいさつ。フィナーレではお菓子